

2022 年 1 月 17 日

報道関係者各位

秋田ワーケーション推進協会

秋田県初の本格的な全国イベント「秋田ワーケーションフェア 2022」開催

～県内での積極的な実績創出により、地域活性化事業の強化を狙う～

秋田ワーケーション推進協会（会長 松浦隆一）は、秋田県で初の本格的なワーケーションによる地域活性化を目指すことを目的に、2022 年 1 月 27 日 28 日の両日、オンラインで全国の地域支援の実践者、企業によるイベントを行うことになりました。参加は事前登録制で、参加料は無料、参加資格は問わない。今回のイベントで、全国から両日で 200 名の参加を見込んでいます。

秋田ワーケーションフェアの背景

秋田ワーケーションフェアは、秋田ワーケーション推進協会が進める初の全国向けワーケーションイベント。2022 年になり新型コロナウイルス感染症の従来株は落ち着きを見せているが、変異株の感染状況推移と、感染拡大防止の観点から、今回は 1 月 27 日 28 日 2 日間、オンラインでの日程で実施する。メインブースでは、定期的で開催している Web セミナーイベント「あきた未来会議」の発展系として、地域への交流人口を生むインフルエンサーの方々の講演を行う（詳細はプログラム欄へ記載）。ワーケーションの今後の動向や、秋田へ人、仕事、企業などを誘引するための事例をもとにした内容。サブブースでは、県内のワーケーションプラン例などを動画で紹介する。今後、毎年実施する予定だ。

秋田ワーケーション推進協会について

秋田ワーケーション推進協会は 2020 年 11 月に設立された。会員は 2022 年 1 月現在で 111 団体。秋田ワーケーション推進協会の目的は 1.秋田県の地域プロモーション強化と他地域からの「人と仕事」の秋田県への誘引、2.地域活性化事例の創出・情報発信の強化など。

昨年 12 月には、秋田県の補助金を活用し、公式ウェブサイト「Wappa（わっぱ）※」をオープンし、協会が進める支援活動のポータルサイトとして運用を始めた。2022 年からは、ワーケーションを軸とした、秋田県への人、企業などの誘引活動を本格化する。秋田ワーケーションフェアはその口火となる。

※Wappa（わっぱ）・・・秋田ワーケーション推進協会が運営する、ワーケーションのポータルサイト。

Work vacation akita promotion association plus alternative の頭文字をとって名付けました。

充実のワーク環境と多彩な滞在施設。自然、温泉、伝統文化、食 etc…仕事も遊びもたっぷり、ひとつの“輪”に入れてお楽しみくださいという意味が込められています。

URL : <https://workation.akita.jp/>

秋田ワーケーションフェア 2022 (オンラインイベント)

—「秋田」を働きながら満喫できる! ワーケーションの魅力を知るセミナー—

充実のワーク環境と多彩な滞在施設。自然、温泉、伝統文化、食 etc…仕事も遊びもたっぷり、ひとつの“輪”の中で堪能できる秋田県の魅力をお伝えするオンラインセミナーフェア!

日時: 2022年1月27日(木)~28日(金) 2日間 Web開催 zoom/ウェビナー併用

主催: 秋田ワーケーション推進協会 後援: 秋田県

【目的】「あきたならではの良さ」を秋田から県外へ届け、ワーケーションで秋田を選ぶ選択肢の土台のきっかけを創出する。

【ターゲット】 県外企業、県外フリーランス等

【構成】 メインブース: セミナー、サブブース: 秋田紹介動画

■メインブース タイムスケジュール (敬称略)

1月27日(木)

13:00~13:10 (10分)

秋田ワーケーション推進協会会長挨拶

13:10~14:10 (60分)

①「マルチコミュニティを楽しもう」

丑田 俊輔

14:10~15:10 (60分)

②「あきた舞妓と楽しむ秋田の魅力」

あきた舞妓

15:10~15:20 (10分)

サイバーセキュリティについて

秋田県警察

15:20~16:20 (60分)

③「福利厚生代行マーケットを活用したワーケーションPR」

株式会社リロクラブ

1月28日(金)

13:00~14:00 (60分)

①「『旅×シゴト』の可能性」

SAGOJO 井谷 太一

14:00~15:00 (60分)

②「秋田ワーケーションの現在地 ~その課題と進む先~」

有坂 民夫

15:00~15:10 (10分)

休憩

15:10~16:10 (60分)

③ ワーケーション事例「この時代だからこそ必要な合宿型社員研修の提案」

創生する未来

登壇者・団体プロフィール



シェアビレッジ株式会社
丑田 俊輔 氏
Ushida Shunsuke

五城目町在住。学びのクリエイティブ集団「ハバタク」、遊休施設を遊び場化する「ただのあそび場」、住民参加型の小学校建設「越える学校」支援、コミュニティプラットフォーム「Share Village」等を手掛ける。千代田区では公民連携拠点「ちよだプラットフォームスクウェア」を運営。



「会える秋田美人」
あきた舞妓
Akitamaiko

かつて繁栄した川反芸者の「秋田心」を受け継ぎ、2014年に新しく誕生。真の「秋田美人」を目指し、さまざまなことに精進しております。あきた舞妓は、おもてなしを通じて、秋田の観光や文化などの魅力を世界中の皆様にお伝えしてまいります。



株式会社 SAGOJO
井谷 太一 氏
Itani Taichi

大学卒業後、バイクでユーラシア大陸を横断。日本では大阪の広告代理店にてプランナーとして従事。その後、カナダに渡り、総合代理店起業、事業を譲渡し帰国。帰国後、人材系ベンチャー企業で新規事業の立ち上げを担当。SAGOJOでは、地域活性化事業のプロデュースを担当。現在は事業全体の統括を行う。



株式会社リロクラブ

14,800社・638万人の企業にお勧めの方々に福利厚生サービス代行企業として観光PR・ワーケーションサービスのご提案。



有坂 民夫

「Semboku Workplex」「Wappa」プロデューサー、有限会社コンテンツ計画代表、東京生まれ育ちで、岩手、秋田の複数拠点で活動中。



創生する未来

地域支援を目的として設立。今回は、先日仙北市で実施した首都圏企業の人財育成×ワーケーション事例をご紹介します!



*ご注意：メインブースのみ事前申込要

申込サイト <https://workation-akita.main.jp>

QRコード



秋田
ワーケーション
推進協会

秋田ワーケーション推進協会

秋田県の企業・自治体・大学に加え、首都圏の企業等が連携し、働き方改革の推進を図ることを通じて、交流人口の増大と移住・定住促進、更には本店機能の拠点分散による企業誘致の実現も視野に入れて、地域経済の活性化を図ることを目的として設立した。観光、文化、自然、産業などの秋田がすでに有している「秋田ならではの良さ」を生かして、楽しく働き、生きることのためのエリア（ロケーション、ファシリティ）とソフト（ホスピタリティ）を用意して、県外からの人・仕事・企業を誘引する活動を行う。会員は、2022年1月現在、県内企業、自治体、団体、首都圏大手企業など111団体。

Webサイト：<https://workation.akita.jp/>

設立：2020年11月

本部：秋田市

会長：松浦隆一（秋田ケーブルテレビ会長）

理事企業（順不同）：秋田ケーブルテレビ、エイデイケイ富士システム、わらび座、東北iツアーズ、創生する未来

【本リリースに関するお問い合わせ】

秋田ワーケーション推進協会 事務局

秋田ワーケーションフェア実行委員会

事務局長：伊嶋謙二（ishima@souseimirai.jp）

事務局担当：藤本・工藤

（akita.work.vacation@gmail.com）

TEL：018-838-1173